

令和5年5月13日

令和5年度 上溝高等学校 PTA総会 校長あいさつ

校長の内田勝久です。4月1日付で、上溝高等学校 第34代校長として着任しました。よろしくお願ひ申し上げます。

4月6日の第78回入学式では、242名の新入生を迎えました。
2年生6クラス237名、3年生6クラス235名 合計714名の学校です。
教職員は、常勤50名（臨時的任用職員4名を含む）、非常勤職員14名です。

着任して上高の印象ですが、創立112年と聞いて驚きました。生徒たちが着ているジャージ等には、SINCE 1911 と書かれています。廊下ですれちがう際にお互いに気持ちよく挨拶を交し合える。授業観察をしてもよい態度で授業に臨めています。

新型コロナウイルス感染症が5月8日から「5類」になったことで、教育活動が変わりますということをごまこみメールにてお知らせしています。学校行事も様子を見ながら、コロナ以前の状態に戻っていきます。

着任して、校長として職員には次のことを伝えています。

◎生徒は、「宝」です。

- 1 生徒がこの学校の主人公で、生徒には「さん付け」呼称をしてください。
人権意識を持つ。個を大切にす。という意味からです。
- 2 自己肯定感、有用感を持たせてほしい。
ほめて育ててほしい、ということです。

◎職員は、県の大切な「人財」です。

- 1 まず、ご自身の健康管理をお願いしたい。
元気に教育活動を行ってほしい。
- 2 風通しのよい学校（職場）にしましょう。
お互いに呼ぶ時も「さん付け」で。

PTA活動について、日頃より、様々な面で、協力いただき本当に感謝しています。昨年度までの役員の皆様、ありがとうございました。大変お疲れ様でした。また、これから役員を引き受けていただく皆さま方、よろしくお願ひ申し上げます。PTA自体は、任意団体ですが、目標はこの学校の主人公である「生徒」のための活動、彼らに還元できることが何なのか、です。皆さん、今年一年間、仲良く活動を行っていきましょう。

簡単ではありますが、校長からのあいさつといたします。

以上